

教育長の視点

～その先にあるもの～

ダイジェスト

全国の教育長に教育施策の立案の視点について尋ねるコーナー「教育長の視点～その先にあるもの～」を、教育情報総合サイトVIEWnext ONLINEで連載しているが、ここでは、かみいそ きこない北海道磯郡木古内町の前教育長と群馬県高崎市の教育長へのインタビューのダイジェストを紹介する。

Web VIEWnext ONLINE

各教育長の記事の全編は、ウェブサイトでご覧いただけます。それぞれの2次元コードからアクセスしてください。

「学び続ける人」を育てる木古内町の教育改革

北海道磯郡木古内町教育委員会



ふじさわよしひろ
藤澤義博教育長

木古内町では、子どもたちが故郷に誇りを持ちながら世界で活躍できるよう、「学び続ける人」を育てる教育活動を進めている。その背景には、藤澤教育長の経験がある。高校卒業を機にアメリカの大学に語学留学し、帰国後、航空会社へ就職。様々なキャリアを積む中で学び続ける重要性を痛感し、2つの大学院で地域政策やプログラミング教育などを研究した。それらの経験が契機となって教育長へと転身。現在は兵庫教育大学大学院で学び、「学び続けることで、人は幾つになっても成長できる」という信念を体現している。最も注力した施策は小中連携だ。小規模自治体ならではの環境を生かし、子どもの個性や学力の状況を小・中学校間で共有するなど、ICT教育の環境とそれを活用する仕組みを整備し、「9年間を見通した教育」を進めてきた。同町は現在、町内に1校ずつの小・中学校を統合する小中一貫校の設置を検討中で、子どもたちが「この町で生まれて、学んで、育ててよかった」と思えるような教育環境の実現を目指している。

教育長の記事の全編は、右の2次元コードからアクセスしてください



聞き手



小中学校事業部
マーケティング・
新規事業開発課 課長
あんざい
安藤さゆり

働く保護者を「早朝開門」で支援。地域ぐるみで「学力アップ大作戦」

群馬県高崎市教育委員会



こばやし りえ
小林良江教育長

群馬県立女子大学学長から教育長に転身した小林教育長。大学入学時に論理的な文章が書ける学生とそうでない学生との間に大きな差を感じ、基礎学力の定着が重要だと考えている。同市は2014年度から、保護者や地域住民による有償ボランティアの協力を得て、放課後や土曜日に小・中学生向けの算数・数学の学習会「学力アップ大作戦」を実施してきた。2026年度には英語も加える予定だ。その背景には、県内の企業において海外の企業とのやり取りが増加している状況とともに、小林教育長が学長時代に多くの地元企業から「英語ができる人材がほしい」と言われていたことがある。生きた英語を学べる環境を整備するため、全市立小・中学校へのALTの配置や英語イベントの開催などに取り組んでいる。また、高崎市は北関東工業地域に属し、多くの工業団地があるため、地域性を考慮した施策も実施。早朝に出勤することの多い保護者の支援を目的として、2026年度から全市立小学校の開門時刻を午前7時に早めることを発表した。

教育長の記事の全編は、右の2次元コードからアクセスしてください



聞き手



小中学校事業部
義務教育支援1課
(東日本) 課長
たなか ゆう
田中 雄

VIEWnext ONLINE で記事の全編をぜひご覧ください